



林東公園ニュースレター

平成 30 年 10 月 20 日 (土) に千歳公民館において、「~林東公園の将来を考える~ 第 2 回林東公園ワークショップ」を開催しました。

当日は、実際に林東公園へ行き、気になる場所や施設、風景などを確認しました。また、池の水質や林東公園で見られる野鳥、植生について千歳の自然保護協会と日本野鳥の会(苫小牧支部)の方から解説をして頂きました。その後、前回同様4つのグループに分かれグループ討議を行い、参加者から多くの意見や要望が挙げられ大変活気のあるワークショップでした。

次回のワークショップは、公園の今後の方向性について話し合います。

第 2 号
「林東公園ニュースレター」では、ワークショップで出たご意見・ご要望の内容について、ご報告します。
発行：千歳市建設部都市整備課

第2回 ワークショップの様子



※ワークショップとは、地域の皆さんと協力し合って、計画やものづくりを進めていく手法です。

林東公園のスケジュール(予定)

平成 30 年度

- 林東公園アンケートの実施
- 林東公園のこれからを考えるワークショップの開催(4回)

※基本的な考え方(方針：利活用・施設・樹木など)の設定

事業計画に反映



問い合わせ先

千歳市 建設部 都市整備課 公園整備係 担当 佐藤 中村
TEL 0123-24-0696(直通)
株式会社 環境緑地研究所 担当 吉田
TEL 011-221-4101 FAX 011-221-4237



林東公園を歩きました!

実際に林東公園を歩いたルートとポイントとなる場所です。

当日は、

- ① 池の水質 (千歳の自然保護協会 熊本さん)
- ② 林東公園で見られる野鳥 (日本野鳥の会(苫小牧支部) 島崎さん)
- ③ 植生 (千歳の自然保護協会 今野さん)

についての解説をして頂きました。



① 池の水質の解説(千歳の自然保護協会 熊本さん)

- 水面上に油膜のようなものが浮いているが、油膜ではなく微生物等の分解生成物である。微生物が落ち葉などの有機物を分解している証拠である。
- 落ち葉などは大部分が分解され、土砂(無機物など)は分解されず沈殿する。一番の問題は分解されず底に溜まった污泥が腐敗して水質汚染につながることでそのまま放っておくのは良くない。
- この場所で微生物等が水をきれいにできる総量は決まっているので、それを超える分については人工的に除去する必要がある。

② 林東公園で見られる野鳥の解説(日本野鳥の会(苫小牧支部) 島崎さん)

- 千歳市内で確認できる野鳥約 240 種のうち、約 60 種が林東公園で確認できていることから、多くの野鳥が林東公園を利用していることがわかる。
- 冬場は、青葉公園に向かう中継地として利用する野鳥も多くなる。
- 近年では、猛禽類のハイタカの飛来も確認できており、餌となる野鳥が豊富であることが伺える。
- 地面にも巣をつくる野鳥もいることから、営巣時期(5月~7月)は下草を残しておく必要がある。

③ 植生の解説(千歳の自然保護協会 今野さん)

- 野鳥が多く見られるということは、この公園に餌が豊富にあるということ。
- むやみに樹木の伐採や剪定を行うのではなく、自然のまま残すもの、公園利用の観点から伐採、剪定するものについて、調査した上で行うべき。



当日話された主な内容はこちらです



A班 ～人、動物、自然との“すみ分け”が必要～

問題点（施設等）

- ・ 駐車場から公園の入口までの道路は、交通量が多く、スピードを出す車も多いので危険である。
- ・ 駐車場の駐車区画がわかりにくいので、明確にして欲しい。
- ・ トイレは男女別のきれいな施設とし、冬期間も使用可能にして欲しい。
- ・ 散策路が歩きにくい。

改善点（施設等）

- ・ 公園内にトイレが必要。
- ・ 木道と自然道を併設してはどうか。
- ・ 雨宿り、日よけになるようなパーゴラが必要。

良い点、アピールポイント

- ・ 四季の草花や紅葉が綺麗な公園である。
- ・ 多くの野鳥が見られる公園である。

問題点（自然、みどり、池等）

- ・ 道路沿いの樹木の枝が、敷地を越えている。
- ・ 笹やトクサが生茂っていて、見通しが悪い。
- ・ 公園内と周辺道路の見通しが悪い。
- ・ 池の水草が繁茂しすぎて、水が流れていない。
- ・ 池の濁りや汚泥がひどい。

改善点（自然、みどり、池等）

- ・ 公園周辺、特に道路沿いの松等の高木は大胆な間引きや剪定を行い、見通しを良くすることが必要。
- ・ 草刈りが必要。
- ・ 上流側を自然ゾーン（自然を残すゾーン）、下流側を公園ゾーン（活用するゾーン）に区分してはどうか。
- ・ パーゴラや四阿は、明るい下流側に設置してはどうか。
- ・ 千歳川からの給水ポンプは、池の水が一定に保たれるような運転とした方が良い。

B班 ～誰のための、何のための公園なのか改めて考える～

コンセプト

- ・ 誰のための、何のための公園なのか、改めて考える必要がある。
- ・ 自然観察や池を活用した公園とするべき。
- ・ 野鳥の観察ポイントとして適しているため、その方向で整備を図ってはどうか。
- ・ 自然に配慮した公園として整備するべき。

水（池）

- ・ 千歳川の水がもう少し公園内の池に流れるようにした方が良い。
- ・ 水車揚水機を設置したらどうか。

樹木

- ・ 樹木の間引きや剪定が必要。
- ・ 残したい木、切った方が良い木を決めることが必要。
- ・ 外来種を排除することが必要。
- ・ 時間をかけて管理していくことが必要。
- ・ 野鳥へ配慮することが必要。

サイクリングロードとの取り合い

- ・ 柵は必要。
- ・ サイクリングロードからの入り口を増やすか、入り易い場所に間口が広い入口を造ってはどうか。
- ・ サイクリングロードからの見通しを良くすることが必要。

施設

- ・ 柵等は、木製でなく擬木等で作ることが必要。
- ・ 散策路は、木チップ舗装等が良い。
- ・ トイレの位置をどうにかしたい。
- ・ 駐車場からの出入りが不便。

公園の将来

- ・ 住民参加型の維持管理が必要。

C班 ～安全・安心が大事だけど

自然環境も考える～

池、樹木

- ・ 池の汚れを改善することが必要。
- ・ 池の水を取水するシステム、水量の安定化が必要。
- ・ 池の下流側の汚泥処理が必要。
- ・ 落ち葉は分解されるが、枝や土が汚泥となり問題である。
- ・ 遊ぶ場所としては、安全面や衛生面の問題があるので難しいと思う。
- ・ 歩くところだけ下草を処理してはどうか。
- ・ 落ち葉等を置けるスペースを設けてはどうか。
- ・ 橋は、コンクリート製だとこの公園に合わないため、木製としてはどうか。

施設

- ・ 休憩所の屋根は、陽が少しでも当たるように高くした方が良い。
- ・ サイクリングロードと公園は区分するために柵は必要。
- ・ 昔みたいに池のそばまで行けるように池に、デッキを設置してはどうか。

その他

- ・ 支笏湖通りを通行する車の音がうるさい。
- ・ 今のサイクリングロードとの出入口（既存パーゴラ付近）は、自転車が出すところなので危険。

D班 ～自然豊かな公園～

自然を使って学んで遊べる公園

- ・ 自然保護の観点と公園利用のバランスをとるためにはルールを決めることが必要。
- ・ 誰のための、何のための公園なのか考えることが必要。
- ・ 林東公園を教育のモデル地区としてはどうか。
- ・ 現状では、学校の学習の場としては利用していない。

施設

- ・ 千歳川からの取水口と吐口の改修が必要。
- ・ 駐輪場が必要。
- ・ トイレは男女別とした方が良い。
- ・ 全ての散策路を支笏湖通り沿いの散策路並みの広さに拡幅するべき。
- ・ 生態系がわかる案内板を充実させてはどうか。

維持管理

- ・ 人力では、整備や管理に限界があるので、管理用通路が必要。
- ・ 橋が老朽化しているので、修理が必要。
- ・ 樹木の剪定が必要。
- ・ サイクリングロード側の下草の除去が必要。

その他

- ・ 駐車場付近から直接公園内にアクセスできるように橋を造ってはどうか。
- ・ 散策路は歩行者メインとし、舗装はせず、自転車も入れないようにしてはどうか。
- ・ 公園と駐車場の間の道路は交通量が多く、減速しないで通行する車両も多いので危険である。

当日をふりかえって…

当日は天候に恵まれ、とても気持ち良く林東公園を歩くことができました。前回のワークショップを踏まえて公園を歩くと、今まで気付かなかった場所や風景を発見できたと思います。

次回のワークショップでは、林東公園の今後の方向性について考えたいと思います。

